

クリアボイス技術は「究極レベルの騒音の中で人間の声だけを音声認識エンジンに伝達する」ことを目的として開発されました。

平成18年11月	東京電力に「EXVARiART」(Excel帳票音声認識入力システム)納入 新日鉄に「Voistyle」(耐騒音下音声認識設備点検システム)納入
平成19年2月	歯周検査「音声入力」ソフト Chirpy(チャーピー)をモリタとの共同開発
平成22年 7月	市原消防署へ音声認識による住所検索システムを導入
平成22年7月	経済産業省の助成金に採択される「音声&タッチパネルによる患者データ記憶の電子化と配信」
平成23年4月	(公社)危機管理協会(CMA)の認定商品となる
平成23年4月	市原市消防局・帝京大学ちば総合医療センター・CMAによる救急車内のサイレン下での音声認識が課題
平成24年3月	独立行政法人情報通信研究機構主催の『情報通信ベンチャービジネス発表会』においてOpen Lab賞を受賞
平成24年3月	NTTコミュニケーションズ(株)とオープンラボ共同実験協定書締結
平成25年4月	経済産業省の助成金を受け、耐騒音マイクを開発

そのため、「ミュージックイヤホン」「ゲーミングヘッドセット」等に用いられているノイズキャンセリングとは、大きく異なるものです。